

鳩山法相に批判相次ぐ

「アル・カーイダ」発言 首相「不適切だ」

鳩山法相が29日の日本外国特派員協会での記者会見で「友人の友人が(国際テロ組織)アル・カーイダだ」などと述べたことに対し、30日の国会質疑で批判が相次いだ。

民主党の長島昭久氏は衆院テロ防止特別委員会で、「よりによって外国特派員協会で発言した。わざわざ世界に(誤解を)発信してもらいたいの言わんばかりだ」と述べ、日本の国際的信用を傷つけた法相の罷免を要求した。

これに対し、福田首相は「場所といい、発言の内容といい、極めて良くない。不適切だ」との認識を示した。法相が「(アル・カーイダが)2、3年前は何度か日本に来ていた」と述べたことについても、首相は

「法相はそういう者を取り締まる立場にいる。十分調査すべきで、それが進んでいないのなら私からも促したい」と強調した。町村官房長官も「第一報が世界を飛び交う時代に法相として不適切な発言だ」と述べた。

一方、民主党の松野信夫氏は参院法務委員会で、「日本の法相は、間接的にテロリストと友人なのかと受け取られても仕方がない。軽率とのそしりは免れない」と指摘した。法相は「物の言い方が悪かったと反省しているが、私が見聞きしたことを申し上げただけだ」と釈明に追われた。

率とのそしりは免れない」と指摘した。法相は「物の言い方が悪かったと反省しと釈明に追われた。

【ロンドン＝森千春】30日付の英有力紙「ザ・タイムズ」は、鳩山法相が日本外国特派員協会の記者会見で「アル・カーイダ」と述べ、パリテロの前に警告を受けたことを示唆したと紹介し、「奇妙な暴露と形容した。その後、法相が発言を修正して、事前警告を受けたのは、自身ではなく友人だったと説明したことも言及。それでも「友人の友人」という人物が「アル・カーイダ」の活動について警告を発していたことに変わりないとして、鳩山氏の発言には謎が残ると指摘した。

英紙報道「奇妙な暴露」

「アル・カーイダ爆弾テロ警告の謎」と題された記事は、法相が「友人の友人がアル・カーイダ」と述べ、パリテロの前に警告を受けたことを示唆したと紹介し、「奇妙な暴露と形容した。その後、法相が発言を修正して、事前警告を受けたのは、自身ではなく友人だったと説明したことも言及。それでも「友人の友人」という人物が「アル・カーイダ」の活動について警告を発していたことに変わりないとして、鳩山氏の発言には謎が残ると指摘した。

鳩山法相「アル・カーイダ」発言

鳩山法相が29日の日本外国特派員協会での記者会見で「友人の友人が(国際テロ組織)アル・カーイダだ」などと述べたことに対し、30日の国会質疑で批判が相次いだ。

民主党の長島昭久氏は衆院テロ防止特別委員会で、「よりによって外国特派員協会で発言した。わざわざ世界に(誤解を)発信してもらいたいの言わんばかりだ」と述べ、日本の国際的信用を傷つけた法相の罷免を要求した。

これに対し、福田首相は「場所といい、発言の内容といい、極めて良くない。不適切だ」との認識を示した。法相が「(アル・カーイダが)2、

国会で批判続出

3年前は何度も日本に来ていた」と述べたことについても、首相は「法相はそういう者を取り締まる立場にいる。十分調査すべきで、それが進んでいないのなら私からも促したい」と強調した。町村官房長官も「第一報が世界を飛び交う時代に法相として不適切な発言だ」と述べた。

一方、民主党の松野信夫氏は参院法務委員会で、「日本の法相は、間接的にテロリストと友人なのかと受け取られても仕方がない。軽率とのそしりは免れない」と指摘した。法相は「物の言い方が悪かったと反省しているが、私が見聞きしたことを申し上げただけだ」と釈明に追われた。

修正して、事前警告を受けたのは、自身ではなく友人だったと説明したことも言及。それでも「友人の友人」という人物が「アル・カーイダ」の活動について警告を発していたことに変わりないとして、鳩山氏の発言には謎が残ると指摘した。

鳩山発言は、英BBC放送サイトも報じるなど、国際的なニュースになっている。